

私のすすめるこの1冊

平石 隆敏（社会科学科 教授）

『寺田寅彦随筆集 第二巻』

小宮豊隆（編）

夏目漱石門下として知られ、東京帝国大学理科大学教授もつとめた物理学者でもある寺田寅彦の随筆は、岩波文庫で全五巻にまとめられています。なかでも第二巻は科学者・寺田寅彦の姿がうかがえます。ここではそこから「電車の混雑について」を紹介したいと思います。

この随筆のテーマは「どうすれば混雑した電車を避けられるか」です。ただし、ここで「電車」というのは当時の東京の路面電車のことで、寺田の示す「秘訣」は今の電車には使えませんが、市バスやエレベーターでは役に立つかもしれません。

最初に読んだのはずいぶん前のことです。先日あらためて読み返してみて、日常の出来事に向ける寺田の科学的な探求の視線が印象的です。

健康がすぐれず満員電車が苦手な寺田は、空いた電車が来るまで待とうと何台か電車をやりすごして眺めるうち、よほど混雑した時間帯でなければ、混んだ電車の後にわりに空いた電車がつづき、その後また混雑した電車が到着するという「一定の律動」があるのではないかと気づきます。

「電車の混雑具合には周期性がある」という仮説がなりたつとすれば、それはどのように説明できるでしょう。寺田は次のように言います。

すべての電車が同じ時間間隔で始発駅を出発し、各駅に到着して客の乗り降りが終わればすぐ発車するとします。もし各駅で電車を待つ客が増える速度が一定だと仮定すれば、すべての電車の混雑具合は同一のはずです。

しかし、もちろん実際には客がくるのにはバラツキがあります。

かりにある駅で電車Xを待つ客が、ほんのわずか多かったとします。すると乗り込みに要する時間も増えるため、Xの発車はほんの少し遅れます。そして次の駅では到着が遅れた分だけ多くの客が待っていて、ますますXの発車は遅れていきます。つまり「込んだ車はますます込むような傾向をもつ」ことになります。

逆にその次の電車Yは、Xの発車が遅れた分だけ待っている客の数は少なくなり、同様にますます空いていく傾向をもちます。このようにして電車の混雑具合の周期性が生じるのではないかと寺田は考えます。

科学者である寺田は、この仮説を検証するために、ある晩わざわざ停留所近くで数十分間にわたり通過する電車の混雑具合と前の電車との時間間隔を計測しています。たしかにおおまかな周期性がみられ、また前の電車との間隔と混雑具合にもおおよその相関が確認されたようです。

それでは混雑した電車を避けるためにはどうすればよいのでしょうか。それは、やって来た電車が混んでいたら、やりすごすことです。周期性からすれば、ほどなく空いた電車が来るはずで。

しかも前の電車との時間間隔が混雑した電車は長く、空いた電車は短いことからすれば、あなたが駅に着いたとき、たまたまやってくるのは混雑した電車である確率の方が大きいのですから。

開催中!

第4回教育展「先生を目指した女性たち—京都府女子師範学校の歩み—」

京都教育大学のルーツのひとつである京都府女子師範学校について、そこで行われた教育や地域社会との関わりを中心にをご紹介します。

- 【会期】11月11日(金)～2023年1月10日(火)
※日曜・祝日、および12/3(土)、12/24(土)、年末年始の12/28(水)～1/4(水)は休館
【時間】9時～17時または9時～21時(附属図書館の開館日時に準じる)
【会場】附属図書館 北館1階企画展示室
【入館料】 無料



講演会

- 【日時】12月10日(土) 14:00～16:30
【会場】附属図書館北館2階 研修・セミナー室1
【講師】多和田真理子氏(國學院大學 准教授)
【テーマ】近代信州の女性教員たち
近代小学校の就学率が向上する明治中期ごろから、後れていた女子就学率の向上と女子に適した教育の実施を目指して、女性教員の増加が急務とされました。一方で女性教員たちは、男性教員より給料も低く、さまざまな批判的にもなりました。そんな時代に、女子師範学校に学び教員となった女性たちや、地元の小学校で専科教員となった女性たちについて、明治・大正期の長野県、とくに南部の下伊那地域を中心に、学校に残る史料や関連資料を手がかりに探していきます。
※入場無料
※詳細は教育資料館のHPをご覧ください。



学修相談カウンター「ミニ講座」のお知らせ

学修支援員(本学大学院生)によるミニ講座を実施します。各自の得意分野や研究紹介、教員採用試験対策の事例紹介など、さまざまな企画を予定していますので、ぜひお問い合わせの上お越しください!

【12月の予定】

- 12月2日(金) 「通級指導教室へ、ようこそ!」
12月6日(火) 「丹後地方に残る伝説と教育」

場所: 附属図書館北館2階ラーニングcommons
時間: 各回 13:20～13:50

※申込不要・入退室自由。ぜひお気軽にお越しください!

学修相談も受け付けています!

スケジュールや担当分野などはホームページ等でご確認ください。



他機関からの複写物・図書の取り寄せはお早めに!

国立情報学研究所のシステムが停止するため、下記の停止期間は他機関からの複写物・図書の取り寄せができません。申込予定の複写物・図書の取り寄せがある場合は、お早めにお申し込み下さい!

※京都府内の図書館の資料取り寄せは可能です。

【複写物・図書の取り寄せ停止期間】

1月23日(月)～1月31日(火)

※お申し込みされる場合は1月19日(木)までにお願います。

京都教育大学 それはかなう夢講座

「先生になりたいーそれはかなう夢」は、京都教育大学のシンボルフレーズです。「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。

第34回のお知らせ

【日時】12月中旬YouTube公開予定

【場所】今回はYouTube公開のみです

【講師】谷口和成（理学科 教授）

【テーマ】理科学習における認知発達の影響

＜概要＞理科教育では、小学生までは理科が好きでも中学生になると嫌いになる子どもの割合が他教科に比べ顕著な傾向があり、学習の到達度や意欲・関心に影響を与えていることが指摘されています。教育現場では、児童・生徒の興味・関心を引く様々な教材や実験・観察が開発され、また理解を促すための丁寧な展開が様々に試みられていますが、なかなか解決できない問題のひとつとなっています。実際、子どもたちは、授業中は楽しそうに活動しているのに、どうして学びが進まないのでしょうか。

本講座では、「深い学び」の鍵となる理科の「見方・考え方」を認知発達の視点で捉えることを通じてこの問題を考察し、その改善のための支援の方向性・あり方について、英国の教材を用いた実演を交えながら紹介します。

主催：「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のためのカリキュラム開発」プロジェクト委員会

後援：京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館



リクエストと投票で話題の本を読もう！

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画をしています！リクエストや投票にどんどん参加してください！

12月の投票期間は

12月1日（木）～12月17日（土）

※結果によっては購入できないこともあります。

※学習研究目的のものは原則として購入しています。



保育士試験対策コーナー

貸出できます

11月21日（月）～12月10日（土）

令和4年度「言語表現に関する技術」の実技試験で課題となっている4つの昔話について、いろいろな語り口や挿絵の絵本・紙芝居を集めました！



南館1階 児童書コーナー



冬季休業に伴う長期貸出について

学部生:12月9日（金）～12月27日（火）

院生・教職員:11月25日（金）～12月15日（木）

【返却期限】2023年1月12日（木）



企画展示室（北館1階）

同窓会写真展（報告）

11月11日（金）～11月14日（月）まで、図書館企画展示室にて開催されました。

好評開催中！

第10回 京都・大学ミュージアム連携 スタンプラリー
2023年3月25日（土）まで
※本学は連携参加大学です。



eBookの試読ができます

電子書籍 Maruzen eBook Library（丸善雄松堂）の試し読みができます。

【実施期間】10月17日（月）～12月16日（金）

学術書など約7万点が読めますのでぜひこの機会にご利用ください。

児童書コーナー（南館1階）



今月の絵本カード（学生作）

『ねずみくんのチョコッキ』

作：なかえよしを

絵：上野紀子

出版社：ポプラ社



※児童書コーナーに
かわいいカードが
飾られていますので、
ぜひ見に来てくだ
さい。

教育資料館 まなびの森ミュージアム

【12月の開館日時】

5日（月）、12日（月）、19日（月）、
26日（月）
14:00～17:00

今月の逸品（12・1月）

『日露戦争三十年植樹記念碑』

展示場所：教育資料館



教育資料館 まなびの森ミュージアム
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

京都教育大学紀要(大学発行の学術雑誌)に掲載された論文を、執筆した先生本人にご紹介いただくコーナーです。

論のくちび理のむすび

今回の執筆者 片山 紀子 (連合教職実践研究科 教授)

「校則の変更から見る生徒指導上の今日的課題 —小中学校の生徒指導担当者を対象としたアンケート調査から—」

片山紀子

京都教育大学紀要 2022, No. 141, pp. 29-42
URI: <http://hdl.handle.net/20.500.12176/9762>

2017年に大阪府立高校の女子生徒が、学校で茶髪を黒く染めるよう繰り返し指導された事案がメディアで取り上げられたことをきっかけとして、近年、「校則」に注目が集まっています。本論文では、校則の変更状況を検討課題に据えつつ、そこから見える生徒指導の抱える今日的課題についても検討しました。

近畿圏にある約1000校の小中学校で、校則指導に関して中心的役割を担う立場にある生徒指導主事にアンケート調査を行ったところ、あくまでも調査時点においてですが(2021年11月)、校則の変更は大胆な変更には至っておらず、靴下や下着の色指定の幅を広げるなどのマイナーチェンジにとどまっていることがわかりました。

校則のマイナーチェンジは、単に校則の変更が小さいものであるということだけでなく、別の視点から見ると子どもの人権を保障せず、LGBTQ等の子どもたちを含め多様な子どもが学校から離れていくのを見逃してしまっていることでもあります。

その背景には教員間の価値観にばらつきがあり、なかなか変更に至らないことや生徒指導主事の業務が過剰にあり、校則の変更には余裕がないことなども要因としてあることがわかりました。『生徒指導提要』の改訂に伴い、校則含めて生徒指導のあり方がどう変わっていくのか、今後も包括的な視点から注視していきたいと考えています。

Youtube「片山紀子 Channel」『校則を問い直す』でも本論文を紹介しています。
よろしければご視聴ください。



※本タイトルの論文は京都教育大学紀要141号に掲載されています。

※京都教育大学リポトリ「クエリ(KUERE)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/>に掲載されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2022年12月							2023年1月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
25	26	27	28	29	30	31	29	30	31				

12/3 推薦入試
12/24-1/5 冬季休業

※開館日程につきましては、変更となる場合がございますのでホームページをご確認ください。

1/6 授業再開
1/14-1/15 大学入学共通テスト

●京都教育大学附属図書館ホームページ
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>
(QRコード→)



京教図書館 News No.267 (2022年12月号)
発行日:2022年12月1日
編集発行:京都教育大学附属図書館
問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp

国立大学法人
京都教育大学
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION